

海上工事の技術資格に関する一考察

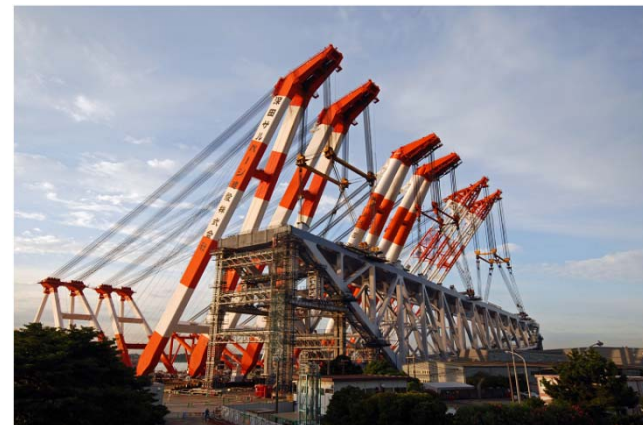
平成24年 9月 5日

(財)港湾空港建設技術サービスセンター 島田 伊浩

(略称SCOPE: Service Center Of Port Engineering)

1.目的

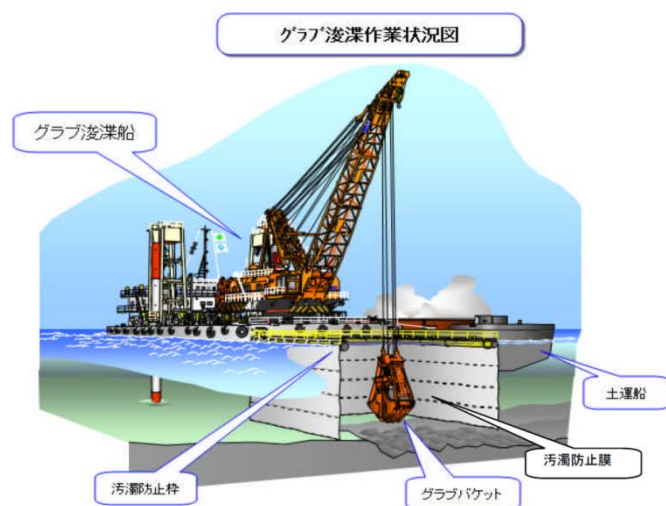
海上工事は「海」という環境を相手に安全に工事を進め、要求された性能を満たす構造物を構築する必要があり、通常の施工技術に加え、気象海象の変化への対応や、海上・海中での作業方法に特有の技術を必要とする。



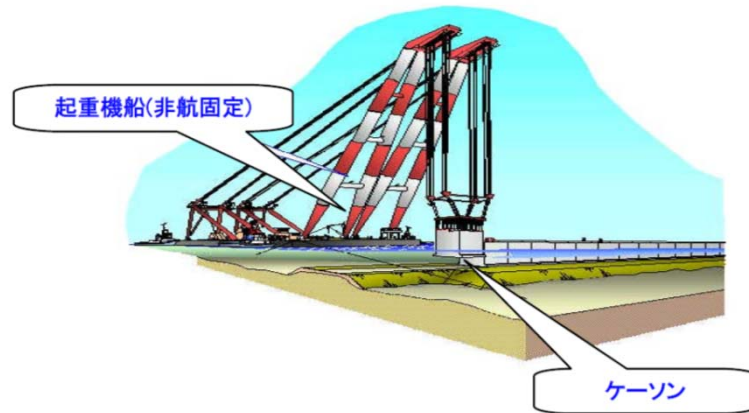
2.役割と試験

- この技術者の役割は、責任者として海上工事の施工を行うことや、指導者として技術を伝承することにある。海上工事の現場で経験を積んだ優れた施工技術者を認定して育成していくことが、今後の工事における安全確保や品質向上等に繋がることになる。
- 試験は、1次試験(選択式)と2次試験(面接式)があり、1次試験は共通分野と専門分野の問題について各25問を解き、2次試験では、事前に経験論文を提出し、経歴書・経験論文にもとづき、「施工経歴」「総合的施工技術能力」「技術者倫理」を評価する。

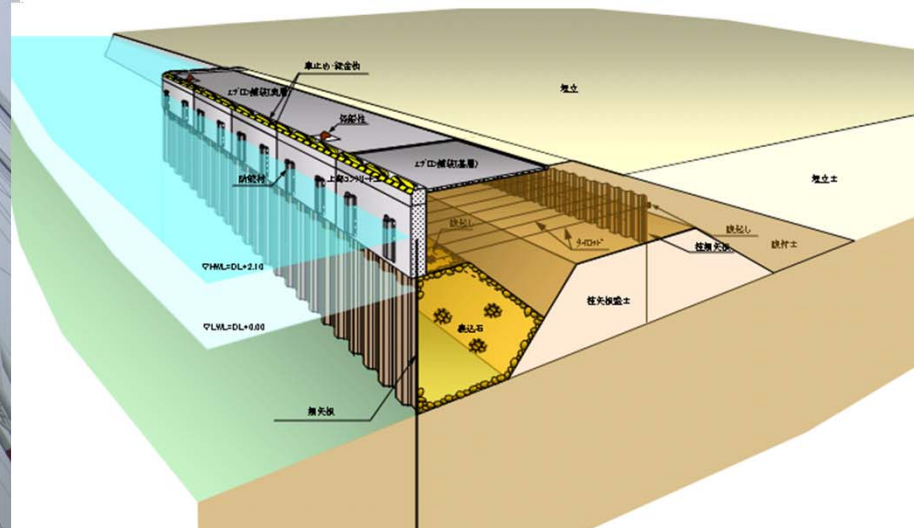
3.分類 ① 浚渫



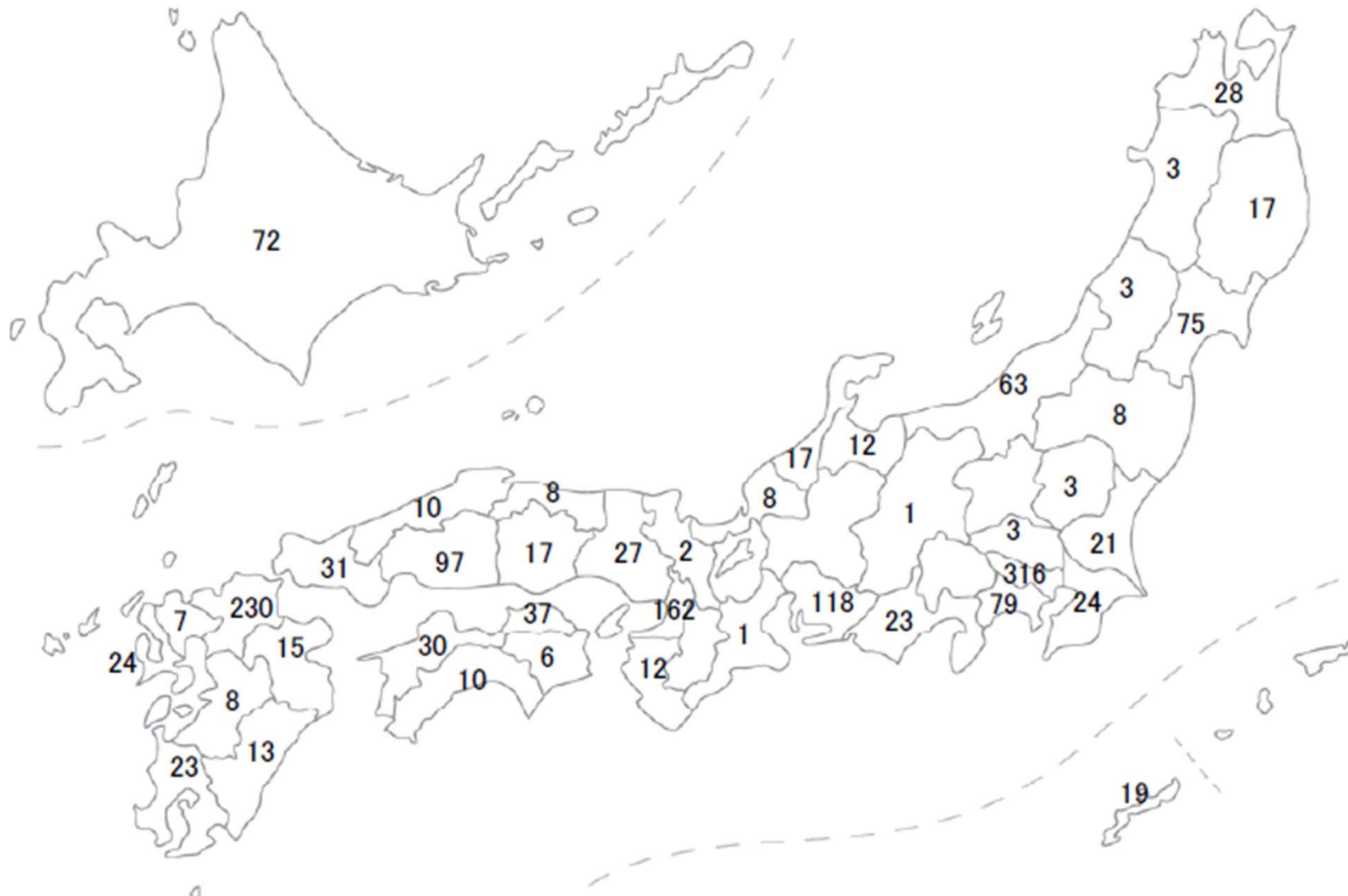
② コンクリート構造物



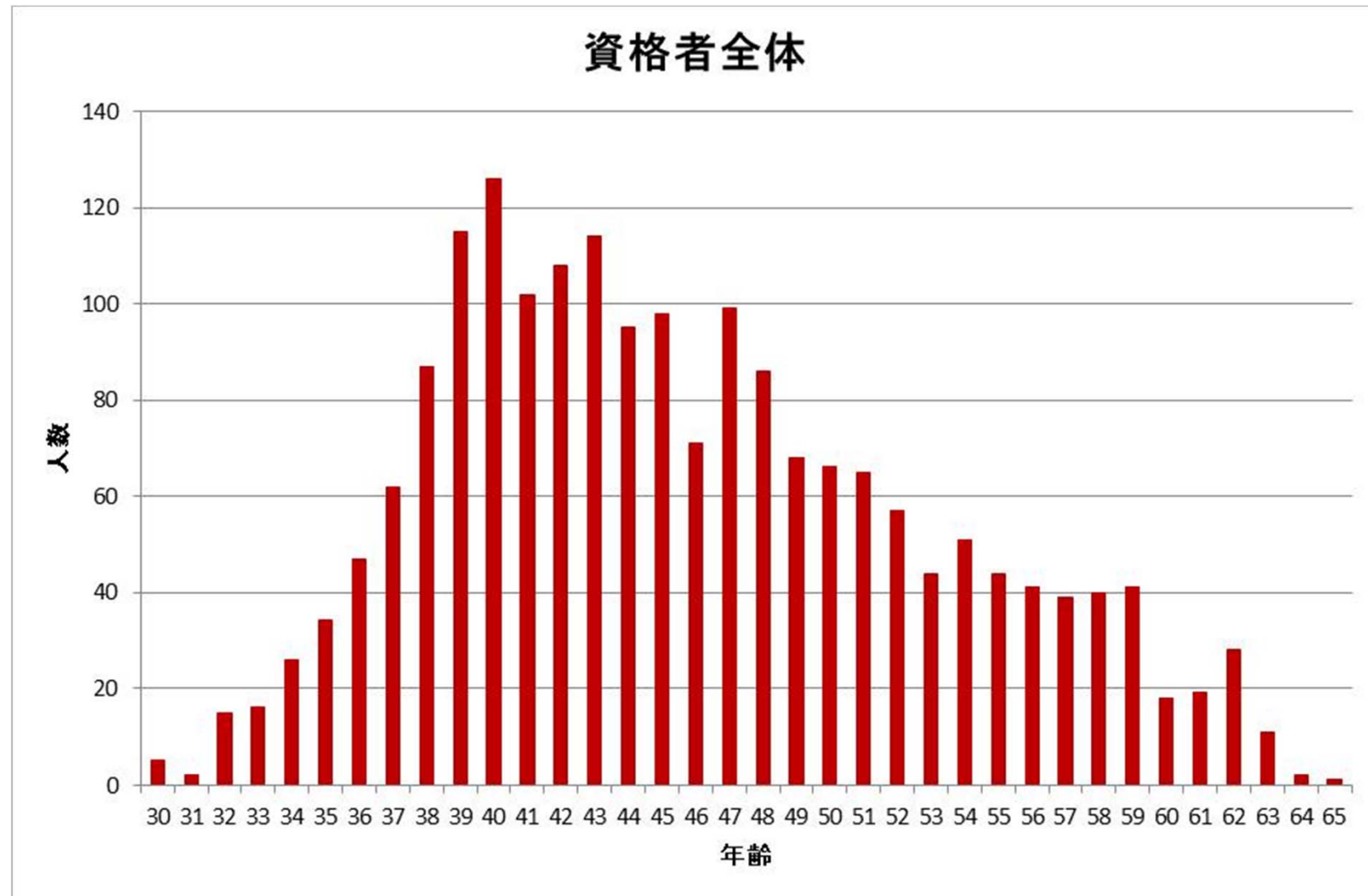
SCOPE



4. 県別人数



5.年齢構成



6. 継続学習

種 別	認 定 項 目				ポイント数	備 考
A	施 工 経 験	業 務 従 事 実 績	・日本国内の公共工事、民間工事および外国での海上工事の施工に直接的に関わる技術業務の従事者。 ・公共工事の発注者側で監督あるいは検査業務に従事者。 ○認定資格分類の工事は、ポイントは1.5倍	業務従事期間が6ヶ月超	40ポイント	・元請け工事の場合は、CORINS登録データを添付
				同 3ヶ月以上 6ヶ月未満	30ポイント	・下請け工事等の場合は、所属長の証明書を添付
				同 3ヶ月未満	20ポイント	
B	継	施 工 技 術 の 報 告 実 績	施工した工事、業務の報告書の提出	提 出	20ポイント (1件につき)	AとFの経験に限る
C			「施工技術報告集」への掲載技術的に優れた内容の報告とし、「施工技術報告集」に掲載	掲 載	20ポイント (1件につき)	「施工技術報告集」に掲載時に加点
D			SCOPE「施工技術報告会」での発表	発 表	30ポイント (1件につき)	報告会発表時に付与
E			SCOPE「施工技術報告会」の聴講	聴 講	10ポイント (1件につき)	参加証明書を添付
F			工事管理、設計、積算、施工計画作成等、施工技術に関する報告書の提出	提 出	20ポイント (1件につき)	工事施工関連部署での業務実績証明書を添付
	継					

7. 考察



① 工種の変化

専門分野や工種の変化についても、柔軟に対応していく必要がある。

② 資格の評価

この資格が必要であるという意義を認識してもらう必要がある。

③ 技術の伝承

報告書のデータベース化等により、利用者の支援を後押しする全体システム構築が必要となる。

ご清聴ありがとうございました。

